

# 断

## 夢を描き 絆を深め 高め合う生徒 ～輝きと潤いのある学校～



### 1年「全進」・2年「ハーモニー」・3年「師弟相寄」

この言葉は、週末に発行される学級通信のテーマです。担任の先生が、こんな学級にしたいという思いが、タイトルに込められています。また、内容も学級・学校の出来事を通して、担任が感じたこと、生徒の良さなどが記されています。保護者のみなさん、学校生活を共有してください。

#### 「人を動かすことを学ぶ学年です」

この文は、22日に発行された「3年『師弟相寄』」に記された言葉です。この言葉の通り、3年生は最上級生として生徒会執行部の一員、または各専門委員会の責任者となり、様々な学校行事の企画・運営に携わります。そして、集団に指示して一緒に活動することで校内生活の活性化に努めています。正に人を動かすことを学んでいます。今取り組んでいる体育大会の練習は、3年生が集団をまとめ、動きを指示して「集団の美」を創りあげることが目標に毎日頑張っています。

LEADER



集団をまとめ、活動させることの難しさを実感していることでしょうか。また、課題を解決するために仲間と協力することの大切さも感じていると思います。多くの苦勞がありますが、この苦勞が社会性を身に付けるために必ず役立ちます。今3年生は、成長のための貴重な経験をしています。

- ◇陸上・4/30「八代陸上競技選手権大会」(八代運動公園)
  - ・5/3「熊本市陸上競技選手権大会」(えがお健康スタジアム)
- ◇野球・4/29「熊日城南地区大会」(八代市民球場)
  - ・4/30「体育堂旗大会」(天明グラウンド)
  - ※ 4/29の結果により、4/30には城南大会の2回戦を行い、会場を移動して体育堂旗に参加します。
  - ・5/4 練習試合(カ合中) BGグラウンド
  - ・5/5 練習試合(袋・水俣二中) BGグラウンド
- ◇女子バレーボール
  - ・5/3 練習試合(稜南・大矢野・維和・千丁) 稜南中
  - ・5/4 練習試合(千丁中) 千丁中学校
  - ・サッカー部もリーグ戦が計画されています。

#### 連休中の各種大会

### 砥用中学校「開校40周年」

#### <昭和62年度>

- ・生徒数 334人(1年113人・2年人114人・3年107人)
- ・PTA役員 会長：川田敏雄 副会長：平永吉男  
副会長：藤田千人志 副会長：後藤しげ子
- ・10.6 熊本県教育庁総合訪問

#### <昭和63年度>

- ・生徒数 328人(1年101人・2年113人・3年114人)
- ・PTA役員 会長：平永吉男 副会長：村崎勝英  
副会長：早津田詔生 副会長：児玉文子
- ・県教育委員会指定「租税教育研究」(~64年度)



### 「避難完了 2分57秒」

熊本地震の発生から6年が経ちました。熊本県では、災害後に創造的な復興をめざし様々な取組が県全体または各市町で取り組まれてきました。熊本県では、毎年4月を「くまもと防災教育月間」として位置付け、災害対策に関わる行事を行い、予期せぬ災害等が発生した場合は、適切な行動をとり安全に避難する態度を育むように各学校で取り組むようになってきました。

22日(金)は、地震が発生したことを想定して避難訓練を行いました。校内放送でグラウンドへの避難指示を行い、担任が人員を確認して校長へ報告する時間が「2分57秒」でした。避難の所要時間、避難時の態度等から概ね良好な避難訓練の参加態度でした。

#### 「くまもと防災教育月間」にあわせて家族でミーティング!

近所でどの辺が危ないかな

なんば持って避難

避難は、どこにすっとかい



### 令和4年度体育大会スローガン

#### 「心を燃やし 仲間との絆でつなぐ 勝利への路」

立派な大会スローガンが決定しました。全校生徒に募集して、集まった作品をもとに生徒会執行部で話し合っ決めてきました。「決める際に心がけたことは、みんなが考えてくれた作品を無駄にしないように、一つ一つの作品に込められた思いを大事にしました」と、生徒会長の中嶋さんが言いました。

結団式では、団長紹介、団旗授与、団長の抱負発表などが行われました。結団式後は、団長が指示して気合いの入った行進練習を行いました。

赤団団長 高津 悠斗さん  
白団団長 村上 漱健さん



### ゴールデンウィークに、「私が心がけること」

今年は、3・3・2の飛び石連休となります。大人の私たちにとっても休みは嬉しいものです。しかし、休むことで日常生活のリズムを乱してしまうことがよくあります。起床・就寝時間をいつも通りに過ごし、感染対策も心がけたいものです。

○「安全」熊本県の感染者数は、日々700人前後です。「マスク着用」「手指消毒」は常に心がけ休みを楽しみます。また、事故等に遭わないように事前の安全対策も怠らないようにしたいです。

○「リズム」普段通りの生活リズムを心がけルーズな生活リズムにならないように注意します。



